

令和4年2月1日

## 千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、本部会の多くの行事は書面開催、オンライン開催といった形式で実施されました。今年度の活動についてお伝えしたいと思います。

### —— 令和3年度の活動を振り返って ——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 会長 若林 雅夫

新型コロナウイルス感染は2年を越える期間に幾度かの波となり、その影響は多方面に及ぶ中、本部会をお支えいただく皆様の温かいご支援により今年度末を迎えようとしています。

さて6月に令和3年度千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会東総大会並びに定期総会を旭市立海上中学校、海上公民館で開催をする予定でありましたが、上記の感染防止対策の観点から紙面提案とさせていただきます。また7月の役員研修会の折に昨年度の活動・決算の報告や今年度の計画・予算など、資料を配布させていただきました。これまでの準備に向けて旭市、東総支部を始めとする大変多くの皆様のご協力、ご支援をいただきました。当日の授業展開、研究協議並びに総会の中止につきましては大変残念なことでありましたが、ご理解をいただき、感謝申し上げます。

また、本教科の成果を発表する場の一つとして「千葉県中学生創造ものづくり教育フェア」があります。今年度は11月13日に千葉県総合教育センターで開催する予定でしたが、これも感染防止の観点から白子町立白子中学校、千葉市立轟町中学校の2会場にて作品審査、オンラインによるプレゼンテーション、質疑応答等初めての形式による開催を実施しました。同様に「全国フェア」、「関東フェア」もオンラインによる形式で実施され、本県の生徒の多くの皆さんの入賞がありました。おめでとうございます。

また7月に東金市立日吉台小学校を会場にして、各支部からの作品の出品の協力を得て千葉県技術・家庭科作品審査会を行うことができました。約200点の作品の中から、千葉県教育長賞、千葉県技術・家庭科振興協会会長賞などを選出することができました。コロナ禍の中における各学校での昨年度の実践の成果を各作品に見ることができました。

今年度は、中学校で令和3年4月1日から新学習指導要領の全面実施となりました。新学習指導要領では、次代を担う生徒が、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となるとともに、生涯にわたって自立し共に生きる生活を創造し続けられるよう、資質・能力を育成していくことが求められています。本教科でも今回の改定の趣旨を生かし、題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、単に何かを作るという活動だけではなく、「技術の見方・考え方」「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた実践的・体験的な学習活動へと転換を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組まなければなりません。今回のコロナ禍での克服すべき問題解決も新たに表出してきました。新しい時代を生き抜く人材の育成の使命が私たちには求められています。

また、令和6年度に開催予定の関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会千葉大会に向けて、理事研修会での協議から指導を開始しました。今後もオンライン、対面の研修会等を含めて部会員相互の絆を深め、資質向上に向けて力を結集させていくことが大切だと考えます。結びに、今年度の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いして、今年度の部会だよりの巻頭言といたします。

—— 県技術・家庭科教育部会作品審査会より ——

今年度も残念ながら作品展を開催することはできませんでしたが、代替の作品審査会が7月に行われました。入賞作品のうち、全国大会に出品する作品を紹介します。

分野	特別賞	作品名	学校名	生徒氏名
技術	県教育長賞	マルチラック	八千代市立八千代中学校	森 輝 さん
	県振興会長賞	本立て	白子町立白子中学校	斉藤 妃依莉さん
	県振興会長賞	ファイル入れ本棚	我孫子市立布佐中学校	芦 康介 さん
家庭	県教育長賞	おじいちゃんの防災ベスト	千葉市立小中台中学校	多田 帆乃果さん
	県振興会長賞	アイデアリメイクショルダーバッグ	千葉市立泉谷中学校	吉田 理良 さん
	(令和2年度作品)	リバーシブルトートバッグ	君津市立君津中学校	北村 優依 さん



【全国大会出品作品】

—— 千葉県中学生創造ものづくりフェアより ——

今年度は無観客・オンラインでの開催となりました。各部門の大賞・第1位入賞作品を紹介します。

分野	部門・順位	学校名	生徒名・チーム名
技術	木工チャレンジコンテスト第1位	白子町立白子中学校	小澤 翔太 さん
	ロボコン大賞	松戸市立小金中学校	「微男連合」
	ロボコン基礎部門第1位	習志野市立第一中学校	「toyano」
	ロボコン計測・制御部門第1位	松戸市立小金中学校	「Maritozzo」
	ロボコン応用・発展部門第1位	習志野市立第一中学校	「疾風 ver.Helfer」
家庭	アイデアバッグ第1位	松戸市立第一中学校	相澤 灯子 さん
	おべんとうコンクール第1位	千葉市立葛城中学校	須藤 聡子 さん



【左：木工第1位】

【中：アイデアバッグ第1位】

【右：おべんとう第1位】

—— 編集後記 ——

コロナ禍においても、県内各地より優秀な作品が多数出品されたことは、大変喜ばしいことでもあります。今回発行にあたり、ものづくりフェアの画像は情報部の佐野先生（君津支部）、依田先生（船橋支部）から提供いただきました。他、多くの方々に部会だよりの編集に協力いただきありがとうございました。これからは新しい生活様式、新しいスタイルの学校教育が求められます。次年度もよろしくをお願いします。